



EMMS プレイヤー・ソフトウェア開発キット

ハイライト

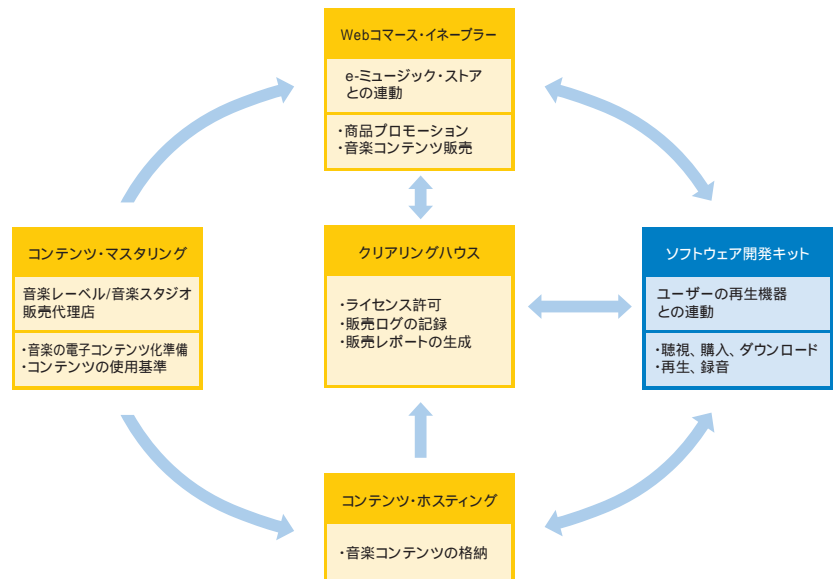
EMMS形式の電子コンテンツに関する著作権の管理を、PCクライアント・アプリケーションで実行

電子コンテンツやメタデータを、設定されているコンテンツ使用基準に合わせてコントロールして配信

セキュア・コンテナ技術を利用して正当なライセンスを入手し、音楽データをダウンロードするシステムを提供

ソフトウェア開発者やオーディオ機器メーカーは、独自の再生アプリケーションの開発が可能

EMMS形式の電子コンテンツの再生、録音、チェック・アウト、ビューイング、配信、ライブラリー管理などにおいて改ざんを防止するための機能



Electronic Media Management System(EMMS)プレイヤー・ソフトウェア開発キット(SDK)は、電子コンテンツのダウンロード、再生、音楽コンテンツ・ライブラリー管理などのユーザー・アプリケーション開発のためのソフトウェアです。これは電子コンテンツ市場のソフトウェアやハードウェアに広く普及することを目指した開発キットで、開発者はライセンスの使用条件に合ったアプリケーションを安全な環境で開発することができます。CD-RドライブやSDMI対応機器を使用したインタラクティブな作業も行うことができます。

さまざまな構成に幅広く対応

EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットでは、次のような機能を提供します。

カスタマイズできるSkinを備え、さまざまなグラフィカル・ユーザー・インターフェース(GUI)を作成できる、機能性に富んだ「再生アプリケーション」

アプリケーション・プログラム・インターフェース(API)を介して、独自のインターフェースやアプリケーションにEMMSの基本機能を連動させることができる「セキュア・パーティション・モジュール」

電子コンテンツやメタデータを配信する際のセキュリティー機能を携帯オーディオ機器に提供する「トラステッド・デバイス・インターフェース」





再生用アプリケーション

EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットでは、再生用アプリケーションのカスタマイズをテンプレート・ファイルで行います。テンプレート・ファイルはGUIのSkinを定義するもので、このなかには「コンテンツ・ライン」と呼ばれる特別なタグ・セクションがあります。このコンテンツ・ラインは、アプリケーションの性質と外観を定義するもので、テンプレート・ファイルと同数のさまざまな外観が用意されています。

セキュア・パーティション・モジュール

著作権管理や複製防止の基本機能として、「セキュア・パーティション・モジュール」と呼ばれる改ざん防止機能を提供しています。セキュア・パーティション・モジュールは更新可能で、ハッカーの攻撃やコードのリバース・エンジニアリングを防止する設計になっています。セキュア・パーティション・モジュールは、コンテンツを格納した電子コンテナを処理し、複製の防止・管理、EMMS形式の電子コンテンツの解読、暗号化、解凍を行います。また、一連のAPIを備えており、ダウンロード、再生、録音、ビューイング、ライブラリー管理などの機能をさまざまなプログラムに組み込むことができます。EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットでセキュア・パーティション・モジュールとAPIを使用することによって、著作権管理や複製防止の機能を維持しながら、さまざまなユーザー・インターフェースの音楽コンテンツ・デジタル配信アプリケーションを開発することができます。

トラステッド・デバイス・インターフェース
トラステッド・デバイス・インターフェースは、EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットの拡張機能です。これは低レベルのプログラミング・インターフェースともいえるもので、携帯オーディオ機器メーカーが自社製品にEMMS対応のインターフェースを開発するのに有用です。セキュア・パーティション・モジュールは、電子コンテンツやメタデータを、コンテンツの使用基準に基づき携帯オーディオ機器に送ります。その際に、このトラステッド・デバイス・インターフェースが使用されます。

セキュア・デジタル・ミュージック・

イニシアティブ (SDMI) を標準サポート
EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットは、携帯オーディオ機器に配信される電子コンテンツの安全性を確保するために2つの異なる方式に対応しています。これらは、CPRM(録音メディア用コンテンツ保護)と呼ばれるメディア暗号化テクノロジーと、認証とキー交換の方式で電子証明を利用する方式で、セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ (SDMI: 電子音楽安全性基準) の携帯機器仕様の一部にも採用が検討されています。これらのセキュリティー・メソッドは、どちらもトラステッド・デバイス・インターフェースに組み合わせて、堅牢なセキュリティー・ソリューションを提供します。IBMIはSDMIの掲げる目標に対して精力的に取り組み、デジタル音楽データや他のメディア・コンテンツの配信における新しい業界標準を確立するために継続的に開発を行っています。

開発者のためのオプション

EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キットでは、アプリケーション開発用と提供用の2つのバージョンを提供しています。開発用キットでは、改ざん防止機能の下でEMMSアプリケーションをテストしながらデバッグ用プログラムを実行することができます。提供用キットでは、完成したアプリケーションの出荷の際に必要なコードを提供します。

主な特長

カスタマイズ

APIとテンプレートがセットになっており、ソフトウェア開発業者や携帯オーディオ機器メーカーが独自の音楽のデジタル配布をサポートするアプリケーションを開発するのに有用です。

セキュリティ

独自のアプリケーションを作成して、EMMS形式の電子コンテンツを処理する際に、EMMSの著作権管理機能や複製防止機能を利用できます。

EMMS機能を実行するために、独自のアプリケーションを作成して、セキュア・パーティション・モジュールの改ざん防止機能を利用できます。

コンテンツ使用基準に基づき、コンテンツやメタデータなどの携帯オーディオ機器への配信をコントロールします。

e-businessサービス

IBMグローバル・サービスは、コンテンツのライフ・サイクルのどのステージにおいても、お客様を支援する用意ができています。こうしたサービスには、お客様要件の評価、機能仕様の開発、EMMSプレイヤーSDKを利用するアプリケーションの開発、既存アプリケーションやシステムとの統合、「スキン」のカスタマイズなどがあります。お客様個々のニーズを充たす、最適なコンテンツ配信ソリューションの実現に、IBMグローバル・サービスをご利用ください。

EMMSプレイヤー・ソフトウェア開発キット稼働環境

ハードウェアの最小要件

166MHz Pentium® プロセッサ
32MBメモリー
5GBハードディスク
インターネット接続
Microsoft Windows 95または
Windows 98対応のオーディオ・アダプター

ソフトウェアの最小要件

Microsoft® Windows® 95 OSR2または
Windows 98
Adobe Acrobat Reader 4.0
Webブラウザ

推奨ハードウェア

233MHz Pentium プロセッサ
32MBメモリー
5GBハードディスク
CD-ROMドライブ(4X)
DSLやケーブル・モデムのような広帯域
インターネット接続
Microsoft Windows 95または
Windows 98対応のオーディオ・アダプター

IBMは、IBM Corporationの商標。
Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
Pentiumは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標。
他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標。

IBM製品・サービスの詳細情報については、
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/tel-med/media/emms>
をご利用ください。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
12-00 Printed in Japan

仕様は事前の予告なしに変更することがあります。製品、サービスなどの詳細については、弊社営業担当員にご相談ください。